

神川橋下圃場での再生活動”3年目のカワラノギク開花～満開”！

2013年10月14日(月)～11月4日(月)
相模川湘南地域協議会 記録:中門吉松

今年度のカワラノギクは第2圃場が最も多かったが、昨年(2年目の第1圃場花)に比べて背丈が低く(70cm) 茎の太さも半分くらい。7月～8月にかけての猛暑による影響は、玉石が多い第3圃場は少なく、冠水による土砂が堆積した第1・2圃場の方が大きいのは表土が熱せられるためか？(次年度課題)

薄紫の河原の野菊

「カワラノギク」を相模川神川橋下の河原に見に行こう

湘南地域の相模川河川敷から消えていたカワラノギク。2年前に上流で採取した種を神川橋下の河原に播種、30数年振りに薄紫色の花をみることができ、今年も日照りや台風による冠水も乗り越え、10月下旬～11月初旬に満開を迎えてきます。



神川橋下のカワラノギク圃場

- 開催日時 : 平成 25 年 11 月 4 日 (月) 振替休日
- 場所 : 相模川神川橋下流の河川敷・・・下図参照ください
- 内容 : 9:00～14:00 会員が保全活動の説明します
終日自由に見学できます
- 注意事項 : 玉石河原を歩きますので、歩き易い格好で参加下さい
- 問い合わせ先: 桂川・相模川流域協議会 相模川湘南地域協議会
(寒川在住) 中門 (なかかど) 携帯 090-4006-5871



10月15日

開花したばかりの第2圃場のカワラノギク、土砂の堆積多く、茎の下の方は茶枯れしている。



10月20日

開花後直ぐ、台風による増水で圃場が冠水、カワラノギクにゴミが絡みつき痛々しい。



10月30日



11月1日

10月下旬から11月初旬(約1週間)が相模川神川橋下河原の満開時期(昨年と同様)、10/12～13 観察会(交流)訪問した鬼怒川中流域より約2週間程度遅れて満開を迎えている。

寒川町広報や流域協議会のHPなどでPR。
11/4～訪れた方は約40名位
* 神奈川新聞の記事を見ての問い合わせや
広報・チラシによる問い合わせがあり、
”カワラノギク”保全・再生活動のPRができた。

2011年5月開始した相模川下流域での保全・再生活動が3年目を迎えて「神奈川新聞」で取り上げて頂きました

相模川湘南地域協議会会員の皆さん・女高生のMさん・遠く横浜や秦野から駆けつけ圃場整備やシナダレスズメガヤ抜き取りの成果が実を結ぶ

神奈川新聞 2013年(平成25年)11月7日 木曜日

花を咲かせたカワラノギクと「桂川・相模川流域協議会 相模川湘南地域協議会」の中門吉松さん(左)と峯谷代表



川 絶滅危惧種再生へ
カワラノギク 圃場咲く

寒川町一之宮の相模川河川敷で、30年以上前に姿を消した絶滅危惧種カワラノギクの再生が進んでいる。2011年から育成が始まり、3年目の今年は約5千株が咲き出した。協議会の峯谷一好代表は、「多くの人がカワラノギクと相模川を見たい」と話している。

SHONAN 湘南

情報は こちらへ

- 相模総局 ☎0463(27)1400 ☎0463(23)1200
- 鎌倉支局 ☎0467(22)4821 ☎0467(22)2800
- 藤沢支局 ☎0468(27)4892 ☎0466(27)8410
- 茅ヶ崎支局 ☎0467(87)1612 ☎0467(87)1622
- 平塚支局 ☎0463(35)1866 ☎0463(35)1866



今年開通した圏央道と満開のカワラノギク(10/30)



第3圃場のロゼット “健やかな成長を願う”

【課題】 アメリカネナシカズラの寄生



節目の観察記録五十号・神奈川新聞

ポリネータの”ハナアブ”と迎える”カワラノギク”



「眺められるようにしたい。相模川を大事にする心も豊かになるのでは」と話した。(峯谷 和夫)